

岩手県盛岡市

新たな学習形態「反転授業」を可能にする マイクロソフトオフィス学習ソフトの開発

2002年に東北初のe-learning事業者として創業し、マイクロソフトオフィス学習ソフト「ナレロー®」を開発。ナレロー®は「習うより慣れる」のことわざに由来し、楽しみながら習得できる独創的学習スタイルをコンセプトにしたソフトである。国内ユーザー数は約7万人で全国の大学生の約1割がナレロー®を利用している。サービスのクラウド化や中国語版ナレロー®の開発にも成功し、新規ユーザーの獲得を実現している。

●所在地 岩手県盛岡市中央通3-1-2

●電話/FAX 019-656-1706/019-656-1709

●URL <http://narero.com>

●代表者 代表取締役社長 瀬戸山 光宏

●設立 2005年

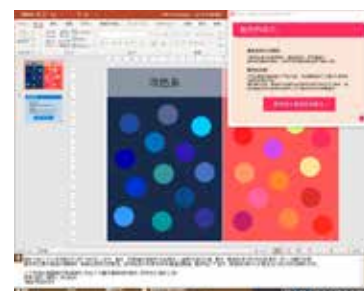
●資本金 300万円

●従業員数 非公開



中国語版「ナレロー®」の開発を足掛かりとした海外進出

2016年から、岩手大学および高雄師範大学と三者での共同研究を開始した。テーマは、①高雄のICT教育の現状と今後について ②高雄における「ナレロー®」の最適な導入時期・導入方法について ③文化・国籍・言語などの差異を問わずに利用できるユーザビリティ向上を図るユニバーサルデザインについて、の3点である。この研究成果をもとに、中国語版「ナレロー®」の開発に成功した。その後、高雄師範大学の紹介で高校4校がナレロー®を導入するなど、毎年約4,000人の新規ユーザーを獲得している。



中国語版「ナレロー®」の開発

産学連携によるユーザビリティ改善と教育効果向上への貢献

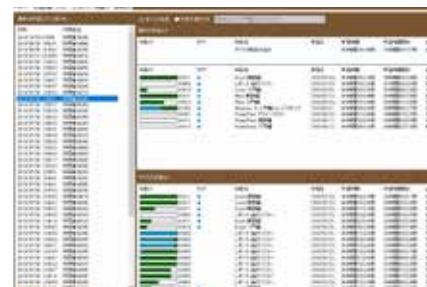
同社は産学連携に積極的に取組んでおり、2010年からは岩手大学教育学部と、2017年からは岩手県立大学ソフトウェア情報学部と共同研究を行っている。産学連携を通じて、「ナレロー®」のユーザビリティ改善が実現するとともに、その成果が、同学における情報リテラシー授業の教育効果UPにつながるという好循環を生んでいる。



高雄師範大学・岩手大学との共同研究

クラウド化による提供サービスの高度化・新サービスの創出

クラウド化により柔軟なサービス提供が可能となり、かつ、学習ログというビッグデータを取り扱うことで新たなサービスを創出することに成功した。クラウド型成績管理システム「ナレロー®プレミアムシステム」は、教職員と学生とがクラウド上で学習ログを共有することができる。そうすることで、授業に対するレディネス(学習の準備が整っている状態)の習慣化を図ることができる。また、学習時間の管理も可能で、一夜漬けなど偏った学習の有無や、ランキング化によるクラス内での学生の頑張りなどを可視化することができる。



クラウド上で学習ログを共有